

チャタヌーガ市への公式訪問団派遣について

1 目的

今年9月15日、姉妹都市締結のためチャタヌーガ市長アンディー・バーク市長及びマウラ・サリバンCOOをはじめとする10人の訪問団が来遠した。

国際礼儀上、遠野市からも答礼の公式訪問団をアメリカ合衆国・テネシー州・チャタヌーガ市に派遣するものである。

2 スケジュール

- (1) 派遣日程 平成30年1月9日(火)から14日(日)まで 4泊6日
(2) 受入れの依頼 平成29年12月チャタヌーガ市長に発送

3 公式訪問団員(6名)

No.	所属等	役職等	氏名	備考
1	遠野市	市長	本 田 敏 秋	団長
2	遠野市議会	議長	新 田 勝 見	
3	(一財)遠野市教育文化振興財団	副理事長	菅 沼 隆 子	
4	遠野市総務部	部長	鈴 木 惣 喜	
5	遠野市文化研究センター	主任	糠 森 千 明	
6	『遠野物語』英訳者		ロナルド・A・モース	現地で合流

4 主な用務

- (1) チャタヌーガ市長、チャタヌーガ遠野友好委員会グループ関係者等への答礼
(2) 中高生交流に係る受入校(CSAS校、CSLA校)へのお礼及び視察
(3) 今後の中高生交流のさらなる拡大に係る協議
(4) 遠野市及び『遠野物語』の紹介
(5) 経済交流など、中高生以外の交流に係る協議
(6) 職員長期派遣研修生の受入れに係る依頼

(参考資料)

1 チャタヌーガ市のプロフィール

テネシー州東部、ジョージア州との州堺に位置する。人口は約17万人で、テネシー川の豊かな流れと、自然に囲まれた都市である。

市名は、先住インディアン部族チェロキー族の言葉で「岩が迫りくる場所」という意味。

かつては、金属や化学工業等が盛んな工業都市であったが、1960年代に大気汚染が深刻化。全米で最も大気汚染のひどい都市とされた。1970年代には、工場の閉鎖に伴って、浮浪者が増え治安が悪化した。この状況を改善するため、官民一体の再開発が行われた。

その取組により危機を脱し、1996年には米大統領賞として「持続可能な開発をする街」の表彰を受けている。

現在は、公害対策として「電気バス」が市内を巡回し名物となっているほか、市内で生産も行っており、国外への輸出も手掛けている。

観光名所は、世界最大級の淡水魚水族館や他州を一望できるルックアウトマウンテン、大小様々な岩石や植物が見られるロックシティガーデン等があり、観光客も増加している。

また、インターネットシティとして名高いほか、日系企業（小松製作所）の工場やドイツの自動車メーカーが進出する等、雇用機会が確保され、「全米で特に住み良い都市のひとつ」として成長している。

昔は大きな旅客鉄道ターミナル駅で、グラン・ミラー楽団が1941年に「チャタヌーガ・チューチュー」という名曲を作り、世界最初のゴールドディスク授与曲となった。

2 これまでの交流

- | | |
|------------|---|
| (1) はじまり | 平成元年度、遠野高校と遠野緑峰高校から海外交流の素案を受領 |
| (2) 高校生交流 | 平成2年度、市内2つの高校が、米国の国際教育交換協議会からの推薦により、チャタヌーガ市にあるCSAS校と姉妹校の締結。その後、同市内のCSLA校も加わっている。
平成3年3月、高校生（10名）を派遣 |
| (3) 中学生交流 | 平成11年度、初めて中学生（8名）を派遣 |
| (4) 市民交流 | 平成14年度、市民訪問団（16名）を派遣 |
| (5) その他の交流 | 平成19年8月、市内小・中学校での英語指導の助手として、教育委員会に外国語指導助手（ALT）を招へい。
平成28年9月、一般財団法人遠野市教育文化振興財団に、国際化支援員（アレックス・ヒューイさん）を招へい。 |

(6) 交流人数（平成29年4月1日現在）

（単位：人回）

区分	派遣	受入
総人数	474	111
高校生	206	81
中学生	151	
一般	117	30

